

はばたけ！佐世保のアスリート②

バレーボール競技(少年女子)

バレーボール競技(少年女子)では、九州文化学園高等学校女子バレーボール部が国体拠点校として活躍しています。14年連続で長崎県チームの国体入賞に貢献しており、昨年の東京国体では準優勝に輝きました。主将の田川紘美さんは「地元開催の長崎国体では、ぜひ優勝できるように頑張ってもらいたい」と後輩にエールを送ります。先輩たちの思いを受けて、「今まで応援してくれた人たちに恩返しができるよう、頑張りたい」と誓った部員たち。長崎がんばらんば国体で日本一を狙います。



国体での経験を心の財産に

これまでに何度もチームを全国制覇へ導いた井上博明監督(左写真)は「選手たちは本当によく頑張ってくれた。監督が良ければ優勝していた」と東京国体での準優勝を振り返り、「長崎国体を経験した選手が大人になったとき、その経験を心の財産にしてほしい」と長崎国体への思いを語りました。



長崎がんばらんば国体 2014 長崎がんばらんば大会 2014

バレーボール競技(少年女子) 10月18日(土)～21日(火) 会場 体育文化館 国体推進室 ☎76-7103



ぶくぶくうがいとむし歯予防 佐世保市のフッ化物洗口

子どもたちの歯と口の健康づくりを目的に市内の小学校で実施しているフッ化物洗口。むし歯予防のための取り組みについて朝長市長がお知らせします。

放送予定日	放送時間(放送局)	
2月 1日(土)	9:25(NBC)	11:40(KTN)
2月 8日(土)	9:25(NIB)	11:40(NCC)
2月15日(土)	9:25(NBC)	11:40(KTN)
2月22日(土)	9:25(NIB)	11:40(NCC)
毎週日曜	18:55(テレビ佐世保)	



1月放送の収録の様子。市ホームページで視聴できます。

2月放送のプレゼント



潜龍酒造「ふるさと讃歌」を3人に!

地元産山田錦を磨き抜き、杜氏が精魂込めて造り上げた逸品。ほんのりとした甘さと滑らかな酸味が特徴の大吟醸酒です。商品の問い合わせ 潜龍酒造 ☎65-2209 ※応募方法は番組内でお知らせします。

秘書課 ☎24-1111

人の動き 1月1日 現在

- 総人口 256,487人(-203人)
男性 120,255人(-128人)
女性 136,232人(-75人)
- 世帯数 105,581世帯(-128世帯)
- ※12月中の動き
転入 429人、転出 542人
出生 215人、死亡 305人

させぼ市政だより

- テレビ(毎週土曜)
NBC・NIB→9時25分～30分
KTN・NCC→11時40分～45分
- ラジオ
NBC 日曜 9時25分～30分
FM長崎 火曜 9時5分～10分
FMさせぼ 火曜10時30分～35分
日曜 9時30分～35分
- 新聞 長崎新聞 毎月第2・4火曜
- ホームページ
<http://www.city.sasebo.nagasaki.jp/>



携帯サイト

市長日記 開港125周年に寄せて



明治22(1889)年に佐世保海軍鎮守府が設置された時を「開港」の起点とすると、ことしは開港125周年に当たります。

戦前、佐世保港は日本の重要な軍事拠点として栄えました。戦後になってからは米海軍佐世保基地や海上自衛隊佐世保地方総監部、第2護衛隊群の拠点が設置され、わが国の海の守りの要となっているとともに、離島航路の発着港や貿易港としての機能も備えています。

しかしながら、日米安全保障条約に基づく日米地位協定により、水域の約80%が自由に使用できず、商港・観光港としての機能が大幅に制限されていることはご存じのとおりです。佐世保港を商港・観光港として存分に活用することは、かねてからの願いであり、新返還6項目の中に「制限水域の返還(緩和を含む)」を掲げ政府に要望を続けていますが、壁は厚く実現には至っていません。

そのような中、本市の海の玄関口である佐世保駅みなと口側を「三浦地区みなとまちづくり計画区域」として整備を進めてきました。昨年11月末には「させぼ五番街」がオープンし、にぎわいのあるまちとしてようやく動き始めました。

また、ことしは三浦地区に最大7万トン級の大型観光クルーズ船が接岸できる新岸壁が完成します。この岸壁の完成によって、ことし4月から5月にかけて、佐世保初寄港となる大型の外航クルーズ客船が寄港を予定しています。そのほかにも、寄港したいとの声は上がっており、現在整備を進めている国際旅客ターミナルの来年3月の完成後には、寄港が本格化することが期待できます。今後はクルーズ客船の受け入れ体制を早急に確立し、おもてなしの心を持って迎えることが必要です。

このように、2014年は佐世保港が商港・観光港として、開港125周年にふさわしいスタートを切ることができそうです。佐世保市歌の一節に「七つの洋に展げゆく」とあります。商船や観光船など、多くの船が7つの海から佐世保港へと動き出す年になりそうです。

※本紙1月号「年頭のごあいさつ」で、「フェルメールとレンブラント展」をことし4月から開催予定としておりましたが、他会場の中止などの事情により中止せざるを得なくなりました。皆さまにお詫びを申し上げます。

佐世保市長 朝長 則男

徳育通信 23

感謝と思いやりの心を行動で表しましょう

佐世保市PTA連合会では、昨年に引き続き、徳育を基盤とした道徳心・倫理観の高い親子の育成を目指して活動しています。私は徳育推進会議の会員でもありますが、今年度の徳育推進フォーラムは徳育推進会議と市PTA連合会の共催により開催しました。フォーラムでは「標語コンクール」(テーマ「徳育について」)の表彰式も行われ、作品の1つ1つの素晴らしさに感心するとともに、徳育への意識の高さを感じました。

子どもたちを取り巻く環境は大きく変化していて、規範意識の希薄化やインターネットの有害情報から受ける悪影響、生活習慣の乱れやいじめ・不登校など、子どもたちの心や体の発達にもさまざま

な影響を及ぼしています。こうした課題を十分に見据えながら、社会全体で徳育を推進することが必要だと思います。

徳育は、どの時代、どの社会においても行われてきた普遍性のあるもので、社会で生活していく上で不可欠なものです。家庭での教育は特に大切です。親として、大人として、子どもたちに模範を示し、学校や地域と連携し、子どもたちが夢と希望を持って育つように「感謝」と「思いやりの心」を行動で表していかなければならないと思います。



佐世保市PTA連合会会長 中倉 まち子

この徳育通信を切り抜いてノートに貼り、「徳育ノート」として家庭で保管しましょう!

おわびと訂正 本紙1月号23ページ中段の記事で「固定資産税」とあったのは「市県民税」の誤りでした。納税課からお詫びして訂正します。